

令和 7 年 5 月 8 日  
愛 媛 大 学

## 愛媛大学ミュージアム企画展 「ドキュメンタリー写真家がみたイスラエルとパレスチナ ～第三者の視点から見る共存への道～」を開催

愛媛大学法文学部多様性研究会・愛媛大学ミュージアムでは、このたび「ドキュメンタリー写真家がみたイスラエルとパレスチナ～第三者の視点から見る共存への道～」を下記のとおり開催します。このイベントは、一般市民や教員、学生・生徒の皆様にも、広くイスラエル・パレスチナの実情をご理解いただき、「人間の共存への道」を考える、一つの契機としていただくことを目的に実施するものです。

本企画展に合わせて、森氏には、5月に松山東中学校、松山南高校、愛大附属中学校、6月には新田青雲中等教育学校、済美平成中等教育学校にて講演会を実施いただき、地域の教育にも広くご貢献いただく予定です。この時期に、直接森氏に取材いただくことも可能です。詳細は別紙をご参照ください。

展示物には、写真パネルの他、イスラエル人作家の児童書の紹介や、日本人ダンサーによる動画作品の上映等も含まれます。展示物の撮影をご希望される場合には、プライバシー保護の関係上、事前にご相談くださいますようお願いいたします。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：令和7年5月19日（月）～ 同7月26日（土）  
場 所：愛媛大学ミュージアム 企画展示室・多目的ルーム  
開館時間：午前10時～午後4時30分（入場は4時まで）  
休 館 日：日曜・祝日  
対 象：一般（中学生以上）  
入 場 料：無料 事前予約不要  
駐 車 場：無

公共機関のご利用をお願い致します。市電「赤十字病院前」より徒歩5分。

主 催：愛媛大学法文学部多様性研究会、愛媛大学ミュージアム

#### 本件に関する問い合わせ先

（担当部署）法文学部多様性研究会

（担当者名）諸田龍美

TEL：090-7629-5343

Mail：morota.tatsumi.mf@ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚（本紙を含む）

# ドキュメンタリー写真家がみた イスラエルとパレスチナ

第三者の視点から見る

共存への道

※写真は左がパレスチナ人、右がイスラエル人です。

森 佑一氏(ドキュメンタリー写真家)の視点を通して、イスラエル・パレスチナの多様な実情を感じていただくと共に、「第三者」である日本人の視点から、「人間の共存への道」を考える、一つの契機としていただきたい。そのような思いから企画致しました。

## 森 佑一 | Yuichi Mori

ドキュメンタリー写真家

1985年香川県生まれ。2012年より写真家として活動を始め、国内で東日本大震災被災地、市民デモ、広島、長崎、沖縄等の撮影を行う。2015年から2年間、青年海外協力隊としてヨルダンにて活動し、現地の生活を通してイスラム教や中東文化への理解を深める。現在は海外に活動の場を広げ、戦時下にある国や地域の実情を取材発信している。これまでの主な取材地は、パレスチナ、イスラエル、イエメン、ウクライナ、シリア等。ライフワークはイエメン取材。

### ▼メディア出演・取材

- ・戦闘下の日常、イスラエルとパレスチナの写真展に込めた思い(NHK 松山放送局 2024年3月1日)
- ・The Burning Issues「イスラエル・パレスチナ、共存の動きを撮った!」(デモクラシータイムズ 2024年3月19日)
- ・安田菜津紀「ドキュメンタリー写真家のメッセージ」ゲスト：森佑一さん(CAPA 2024年10月号)
- ・イスラエル・パレスチナの現状伝える 愛媛大で写真家・森佑一さん講演会(愛媛新聞 2024年11月16日) 等



©Uri Cavari

## — 展覧会 —

会期：2025年5月19日(月)～7月26日(土)

場所：愛媛大学ミュージアム 企画展示室・多目的ルーム

午前10時～午後4時30分(入場は午後4時まで)、日曜・祝日休館、入場無料

主催：愛媛大学法文学部多様性研究会、愛媛大学ミュージアム

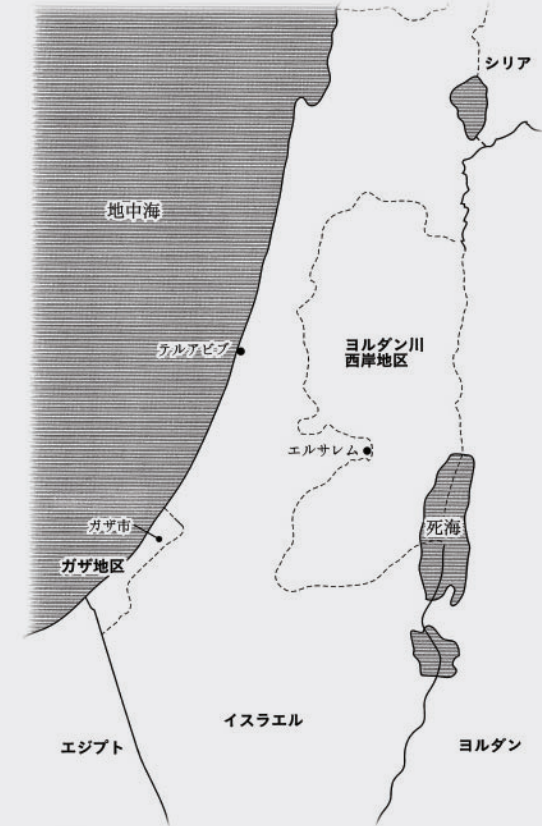


Ehime University  
Museum



# ドキュメンタリー写真家がみたイスラエルとパレスチナ ～第三者の視点から見る共存への道～

## イスラエルとパレスチナ自治区



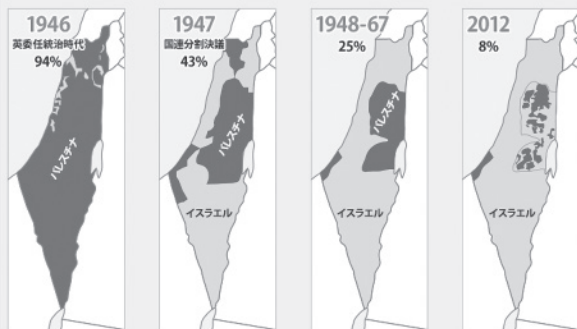
(参考) イゼルディン・アブエライシュ 著 (高月園子訳) . それでも、私は憎まない, 亜紀書房, 2014, を元に作成.

## パレスチナ問題に関する年表

- 1947 年: 国連パレスチナ分割決議
- 1948 年: イギリス委任統治終了、イスラエル国家独立宣言、第一次中東戦争
- 1949 年: 第一次中東戦争停戦協定、パレスチナ三分割
- 1956 年: スエズ危機 (第二次中東戦争)
- 1964 年: 第一回アラブ首脳会議、パレスチナ解放機構 (PLO) 結成
- 1967 年: 六日戦争 (第三次中東戦争)、ナセル大統領 (エジプト) の汎アラブ主義失墜
- 1969 年: アラファト、PLO 議長就任
- 1973 年: 第四次中東戦争、OAPEC の石油戦略発動により石油危機が起きる
- 1980 年: イスラエル国会、東西エルサレム首都宣言可決
- 1987 年: ガザ地区で第一次インティファダ (民族蜂起) 勃発
- 1988 年: パレスチナ国民評議会によるパレスチナ独立宣言
- 1990 年: 湾岸戦争
- 1993 年: オスロ合意 (パレスチナ暫定自治原則宣言に調印)、ラビン首相とアラファト議長、ワシントンで「原則の宣言」に調印、握手
- 1994 年: ラビンとアラファト暫定自治合意、ガザ地区と西岸エリコからイスラエル軍撤退、テロ虐殺激化
- 1995 年: イスラエルのラビン首相暗殺
- 1996 年: パレスチナ評議会と自治政府、大統領選挙実施。アラファト当選
- 2000 年: クリントン大統領仲介のもと行われたキャンプ・デービッド会談決裂、第二次インティファダ勃発
- 2002 年: イスラエル、分離壁の建設を始める
- 2003 年: カルテット (米、露、EU、国連) が和平のための「ロードマップ」提示
- 2004 年: ガザ地区ラファにイスラエル軍侵攻し大規模な家屋破壊、アラファト死去 (暗殺疑惑あり)
- 2005 年: ガザ地区からイスラエル入植者撤退
- 2006 年: ハマス台頭。評議会選挙で勝利し第一党となる。  
ハマスをテロ組織とする EU、アメリカ、日本など自治政府への援助を停止
- 2007 年: ガザ地区でハマスとファタハが衝突。ハマスが同地区を制圧。  
ファタハ主導のヨルダン川西岸地区と分離。  
イスラエルがガザ地区に対する経済措置強化
- 2008 ~
- 2009 年: イスラエル軍によるガザ大規模攻撃 (ガザ紛争)
- 2009 年: イスラエル総選挙で右派政党過半数獲得
- 2012 年: 国連、パレスチナに「国家」としての国連オブザーバーの地位を与える議会決議が採択される
- 2023 年 10 月 7 日: ハマスによるイスラエル攻撃 / イスラエル軍のガザ地区への軍事侵攻開始
- 2023 年 12 月から翌年 2 月: 森佑一氏イスラエル・パレスチナ取材

(参考) イゼルディン・アブエライシュ 著 (高月園子訳) . それでも、私は憎まない, 亜紀書房, 2014, を元に作成.

## パレスチナ人の土地面積の縮小



<https://ccp-ngo.jp/palestine/>, より作成 (参照 2025-04-27).

## 愛媛県における森佑一氏の講演活動

2024年 7月17日 愛媛大学法文学部多様性研究会  
: 11月15日 済美平成中等教育学校  
: 11月16日 愛媛大学人文学部・法文学部  
多様性研究会公開講演会

2025年 4月14日 愛媛大学附属高等学校創立記念講演会  
: 5月21日 松山東中学校  
: 5月22日 松山南高等学校  
: 5月23日 愛媛大学附属中学校  
: 6月11日 愛媛大学法文学部多様性研究会  
: 6月12日 新田青雲中等教育学校  
: 6月13日 済美平成中等教育学校  
: 10~11月 松山北高等学校